



佐世保市立吉井中学校

校訓：「耕心」

所在地：佐世保市吉井町前岳3番地2

校長名：松井 弥伸

生徒数：147名（8学級）

1 特色ある学校づくりに対する基本姿勢

校訓である「耕心」の精神のもと、教師と生徒、生徒同士、教師同士の心のふれあいと切磋琢磨を大切にしながら、

(1) 生徒自身が「友達が好き、学級が好き、学校が好き」と感じることを。

(2) 「生徒一人一人の夢や志をはぐくむ」こと。

(3) お互いの存在を「認め合い」、お互いが「切磋琢磨」しながら自分自身を高め、将来に向かって前向きに進んでいくことを目指し、「これからの社会的課題を解決し、自ら生きる力を培う教育の充実」をテーマとした。さらにその具現化のために、『伸ばそう 学力』『鍛えよう 心と体』『語ろう 夢や志』を実践目標として、特色ある学校づくりを推進し、実践した。



2 実践内容

(1) 鍛えよう、心と体

- 助産師の先生をお招きし、生徒と保護者へ向けた「性教育講演会」を実施した。命の誕生について貴重な講話を聞き、自他の生命の尊さを学習することができた。



- デートDV防止講演会を実施し、男女間における平等な立場、相手を思いやる気持ちの大切さ、言葉の大切さについて講師を招いて実施した。ロールプレイなどの手法を用いた講演で、男女間の交際についての関わり方を学ぶことができた。



- 学校と地域・保護者で「地域クリーン作戦」を実施し、校区内の清掃活動を行った。保護者や地域と協働しながら体験活動を積極的に進め、地域社会の一員としての自覚や地域に貢献する態度を育てることにつながった。



- メディア教育講演会を実施した。保護者も参加し、スマートフォンやパソコンなどの情報機器によるネットトラブルを中心にSNS上でのどのような犯罪行為が行われるかなど、具体的に話をいただいた。保護者からもわかりやすく実生活に役に立つとの声があり、生徒も便利な反面、気をつけるべきことを学ぶことができた。



(2) 伸ばそう、学力

- i - c h e c k の 2 回目を学校独自で実施した。1 回目の結果を受けて、生徒一人一人に目を向けた生徒理解に取り組み、その成果を 2 回目で検証することができた。生徒の個性と自主性を伸ばす指導の工夫につなげることができた。



- 音楽コンクールでは、昨年度に引き続き、作曲コンクールと合唱コンクールを行った。専用のソフトを使用し、生徒全員が作詞と作曲を行い、発表した。創作意欲の向上と創意工夫が見られ、学ぶ意欲の向上へつながった。

(3) 語ろう、夢や志

- 公立、私立高校の先生方を招き、2、3 学年生徒及び保護者に向けた高校説明会を実施した。各高校の特色など保護者と共に聞くことで、夢やあこがれ・志をもって、将来について考えるキャリア教育の推進につなげることができた。

- 1 学年では、吉井地区コミュニティセンターと協働して、総合的な学習「地域学習」を行った。地域の歴史に触れる機会を多く設けることで、地域への愛着と感謝の気持ちの向上につなげることができた。



- 2学年では職場体験学習を行った。地域の企業や事業所の協力を得て、コロナ禍ではあったが、感染症対策を講じながら実施した。これにより将来の職業選択と社会貢献への意識向上につなげることができた。



3 成果

- 1学年では、総合的な学習の時間の一環として「ふるさと学習」に取り組んだ。吉井地区コミュニティセンターの講座と協働し、生徒の調べ学習の発表を、保護者だけではなく、地域の方々にも聞いていただく場を設けた。吉井地区にある歴史に触れる機会を多く設けたことで、地域への愛着と感謝の気持ちの向上につなげることができ、中学生の学習の様子を地域の方々に知ってもらう機会にもなった。
- 2学年では職場体験学習を行った。地域の企業や事業所の協力を得て、コロナ禍ではあったが、感染症対策を講じながら実施した。これにより将来の職業選択と社会貢献への意識向上につなげることができた。
- 1、2学年生徒に対して、i - c h e c kの2回目を学校独自で実施した。1回目の結果を受けて、生徒にどのような変容が見られたのか、2回目の調査で検証することができた。この検証を教育相談へつなげ、一人一人に目を向けた教育の実現につながった。
- 公立、私立高校の先生方を招き、2、3学年生徒及び保護者に向けた高校説明会を実施した。進路について詳細な情報を得ることで、将来について目を向け、考えるキャリア教育の推進につなげることができた。
- 学校と地域・保護者で「地域クリーン作戦」を実施し、校区内の清掃活動を行った。保護者や地域と協働しながら体験活動を積極的に進め、地域社会の一員としての自覚や地域に貢献する態度を育てることにつながった。
- 助産師の先生をお招きし、生徒と保護者へ向けた「性教育講演会」を実施した。命の誕生について貴重な講話を聞き、自他の生命の尊さを学習することができた。
- 「豊かな心の育成」の一つとして実施した「命の講演会」では、命の大切さについて考えさせる機会を設けたことで、食への感謝や自他の命を大切にすることについて真剣に考え、豊かな心の育成につなげることができた。

4 今後の課題

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施ができていなかった2学年のキャリア教育の充実を目指した職場体験学習を行うことができ、このような体験活動をさらに今後も増やしていきたいところである。また、「地域クリーン作戦」は、本校生徒会とPTAが中心となり、保護者の方と協働して取り組む活動であるが、保護者の参加が少なかった。事前に安心・安全メールや文書等でお知らせ等、昨年度以上に周知をはかったが、平日の開催という事もあり、保護者の方々が都合をつけられるのが難しいようであった。大変有意義な活動であり、地域との結びつき、保護者とのふれあいを実感できる活動なので、今後も継続して実施していきたい。

1学年、2学年については、i-checkの2回目を実施したことで、生徒にどのような変容が見られたのか、検証することができたが、それに対する手立てを話し合う時間をとるのが難しかった。学年だけの協議ではなく、学校全体で共有できるように、校内研修等の時間を設けて、次年度につなげていきたい。

学力向上についても、本校独自の基礎学力向上のための手立てを、今後も研究部を中心に考えていく。そのためには、教科の枠を超えた、共通実践事項をさらに見直し、生徒の実態把握から具体的にどのような取組ができるか協議し、学力向上につなげたい。また、特別な支援を要する生徒への支援をどのように行っていくか研修を深めていく。

生徒の自己肯定感を高めるために、主体性をもたせた行事の実施、各種講演会の開催による社会性の醸成を今後も柱として取り組んでいきたい。